

松江
キャンパス

男子バレーボール部



下を向いている暇はない。
悔しさをバネに高みを目指す!

私たち男子バレーボール部は総勢26人で活動しています。バレーボールという競技を楽しみながらも、試合に勝つために真剣に練習をしています。4月末から5月中旬にかけて行われた中国大学春季リーグ戦では、最後まで戦い抜き、1部リーグ5位という結果で終わることができました。悔しさが残る試合もありましたが、次の秋季リーグ戦に向けて、1部のさらに上の順位を目指し、足を止めることなく進み続けます。

Shimadai's Circle

しまだい CLUB & CIRCLE INFORMATION

部活動 サークル

各キャンパスでそれぞれの特色を生かして活動する島大生。運動系や文化系はもちろん、大学を飛び出して活動する団体もあり、活躍の幅は様々です。そんな各団体について、実際の活動内容を交えて紹介します。

出雲
キャンパス

医学部弓道部



初心者も経験者も
垣根を越えて楽しめます!

医学部弓道部には、初心者から大会で入賞するほどの実力者まで、幅広い層の部員が所属しており、皆で弓道の腕を高め合っています。また、穏やかな雰囲気も魅力の一つで、新歓に来てくれた新入生の入部の決め手になることもしばしばです。現在は新型コロナウイルス感染症の影響で活動が来ていませんが、再開後は、部内戦や他校との交流、大会への出場などのイベントを行っていききたいと思います。

出雲
キャンパス

馬術部



馬術を通して交流を深め
豊かな学校生活を!!

馬術部では皆で協力しながら楽しく馬のお世話をしています。こうして自然豊かな場所で毎日動物と関わることでできる点が馬術部の一番の魅力だと感じます。コロナ禍になってからイベント等には参加できていませんが、以前は、一般の方も交えた競技会や地域の行事などにも参加し、学外の方との交流も盛んに行っていました。今後はまたこのようなイベントに参加し、馬術を通じて多くの方と交流を深めていきたいです。

学生の視点で
島根大学の魅力 を発信!



満開の桜
新年度スタート



色とりどりのつつじ
生物資源科学部棟2号館前

Instagramでは、学生目線で島大生の
キャンパスライフを紹介しています。

Instagram



～ピアノと共に成長する～
教育学部 音楽科教育専攻の
金森愛さん取材!

記事: 村田 明日香
(法文学部 言語文化学科 2年)
撮影: 奥村 しょうた
(生物資源科学部 環境共生科学科 4年)



島根大学には、さまざまな分野で活躍する学生が多数在籍しています。今回は、教育学部音楽科教育専攻2年の金森愛さん取材しました。

金森さんは昨年、第27回フッペル鳥栖ピアノコンクールや第31回日本クラシック音楽コンクールといった全国規模のピアノコンクールで、優秀な成績を収めています。また、米国で開催されたコンクールでも入賞するなど、海外でも高い評価を受けています。

島根県出雲市出身の金森さんがピアノを始めたのは3歳の頃。小さい頃からクラシックのCDを何枚も集中して聴くほど音楽が好きだったそうです。練習は自宅だけでなく、大学でも空きコマの時間を使って行っています。高校の頃に比べてピアノにかかる時間が増え、ピアノに対する思いも強まりました。現在は「必要な時に必

要な量」をモットーに、練習の質を上げています。

今までのピアノ人生で印象に残ったことは、今年3月に行われた第38回JPTA(日本ピアノ教育連盟)ピアノ・オーディションで全国大会に出場し、上位2名だけが参加できる優秀者演奏会において演奏できたことだと語る金森さん。憧れの舞台上、高校生の頃から弾きたいと願っていたセザール・フランク作曲の『プレリュード、コラールとフーガ』を演奏できたことが今までで一番嬉しかったそうです。

そんな金森さんの直近の目標は、今まで出会ってきた素晴らしい作品を自身で弾けるように練習し、レパートリーを増やすことです。金森さんの今後の益々の活躍と、夢の実現を心から願っています。

学生 広報サポーター レポート



島根大学では、学生の視点や発想を生かしながら、ボランティアで広報活動を行う「学生広報サポーター」制度を設けています。学生広報サポーターの記事の一部を紹介します。



教育学部音楽科教育専攻2年 金森 愛さん



様々なコンクールで優秀な成績を収めている(本人提供)



第38回JPTAピアノ・オーディションにて(本人提供)



大学の音楽ホールで演奏する金森さん